

平成27年度第2回立山町総合教育会議 議事録

1. 開催日時 平成27年12月22日(火) 14時から15時まで
2. 開催場所 立山町役場4階全員委員会室
3. 参加者 町長 舟橋貴之
教育委員 大岩久七、石原るり子、大畑年、金川良子、有馬信幸
4. 事務局 企画政策課 久保和彦、清水厚、竹腰三佳
教育課 大塚和明、山元秀一、村上公堂、林宏之

[協議事項]

- ・教育課から、立山町教育振興基本計画について概要説明。
- ・町長から、「今年の立山町の全国学力・学習状況調査(以下、全国学力テスト)の結果と、全国学力テストの結果の公表のあり方について、教育委員会の見解を聞かせてほしい。」との発言があった。
- ・教育委員会から、「小・中学校とも今年の結果は大変良好であった。各学校努力してくれている。全国学力テストの結果の公表の有無に関する方針については、毎年度、教育委員会で検討している。今年度は、「非公表」とすることとした。」との回答があった。
- ・町長は、「議会の要望(一部)もある。小学校については、公表してもいいのではと思っている。来年度以降の公表について検討していただければありがたい。」と発言があった。
- ・教育行政全般についての意見交換において、
 - 教育委員から、「教育の基本は人材育成である。」
 - 「教員が長期研修(1カ月以内)で不在になると、代替教員がいないので、子どもの学習への影響が懸念される。長期研修は、教員にとって資質向上につながるのに積極的に出席してほしいが、なかなか難しい。」
 - 「スーパー教員を呼んでどうか。」
 - 「地域への愛着と誇りを持ってもらうためにもふるさと教育の充実を図るべきである。」
 - 「体験的な活動を取り入れることは大切である。」
 - 「14歳の挑戦をケーブルテレビで放送していることをもっと広報すべきである。」
 - 「就学援助を必要とする子どもたちの増加などが課題としてある。」等の発言があった。
- ・最後に、町長から、本日の意見交換等を踏まえ、町教育大綱を年度内に定めたい旨、発言があり、全員に了承された。

[閉会時刻 15時00分]